

## ○廃棄物処理計画の策定経緯

- S48. 2 (第一次) 産業廃棄物処理計画策定
- S52. 4 (第二次) 産業廃棄物処理計画策定
- S57. 4 (第三次) 産業廃棄物処理計画策定
- S62. 4 (第四次) 産業廃棄物処理計画策定
- H 4. 4 (第五次) 産業廃棄物処理計画策定
- H 9. 4 (第六次) 産業廃棄物処理計画策定
- H14. 9 廃棄物処理計画策定
- H19. 3 廃棄物処理計画策定
- H24. 3 廃棄物処理計画策定
- H28 年度 次期廃棄物処理計画策定予定  
(計画期間 H29～33 年度)

産業廃棄物のみを対象とした  
廃棄物処理計画を策定。

平成 12 年の法改正において、  
一般廃棄物も含めた廃棄物処  
理計画を策定することとされ  
た。

## ○現行の廃棄物処理計画の進捗状況

### 1 廃棄物処理計画（平成 24 年度～28 年度）の数値目標と直近の達成状況

#### (1) 一般廃棄物

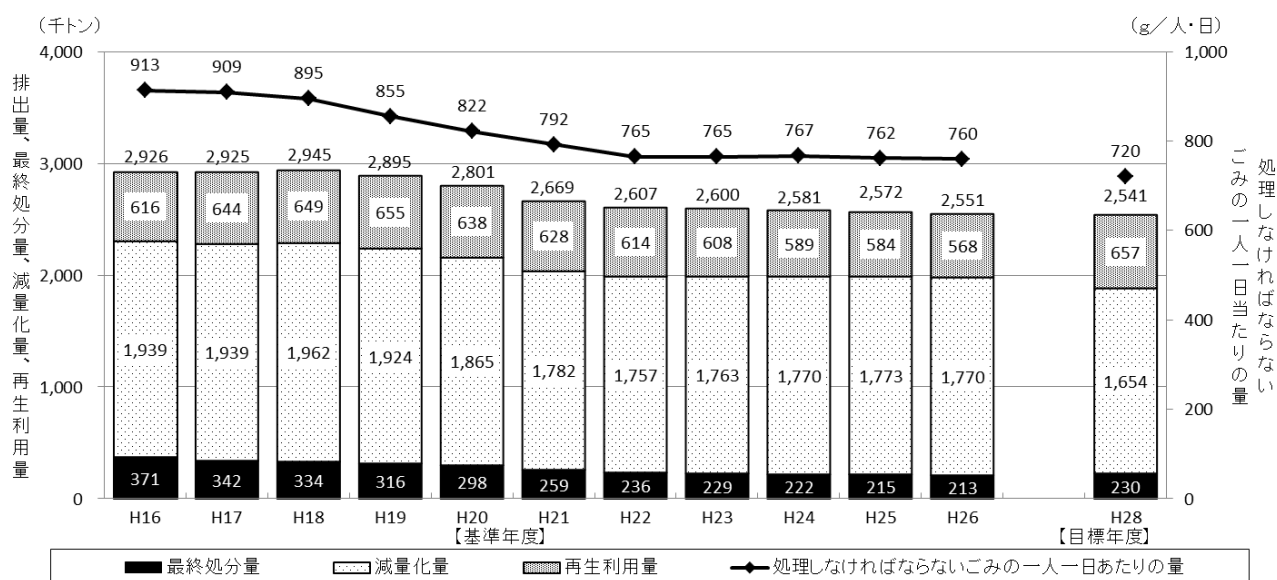
項 目	目 標	基準年度 (平成 20 年度)	実績 (平成 26 年度※ <sup>3</sup> )
排出量	平成 20 年度に対して 約 9 %削減し 254 万 1 千トンとする。	280 万 1 千トン	255 万 1 千トン (8.9%減) ※ <sup>2</sup>
処理しなければ ならないごみの 一人一日当たりの量※ <sup>1</sup>	720 g とする。 (12%減)	822 g	760 g (7.5%減)
排出量に対する 再生利用量の割合 (再生利用率)	約 26%とする。	22.8%	22.3% (0.5 ポイント減)
最終処分量	平成 20 年度に対して 約 23%削減し 23 万トンとする。	29 万 8 千トン	21 万 3 千トン (28.5%減)

※ 1 : ごみの年間排出量から、資源ごみ量及び集団回収量を差し引いた量を一人一日当たりに換算した量

※ 2 : 実績のかつこ内は、平成 20 年度に対する増減の割合等

※ 3 : 速報値 (平成 28 年 2 月 10 日現在)

- ・排出量は2,551千トンで、平成20年度の2,801千トンに比べて8.9%減少している。目標は未達成であるが、ほぼ順調に減少している。
- ・処理しなければならないごみの一人一日当たりの量は760gで、平成20年度の822gに比べて62g減少している。目標は未達成であり、減少の幅も小さい。
- ・再生利用率は22.3%で、平成20年度の22.8%と比べ0.5ポイント減少している。目標は未達成であり、近年横ばい傾向である。
- ・最終処分量は213千トンで、平成20年度の298千トンに比べて28.5%減少しており、目標を達成している。

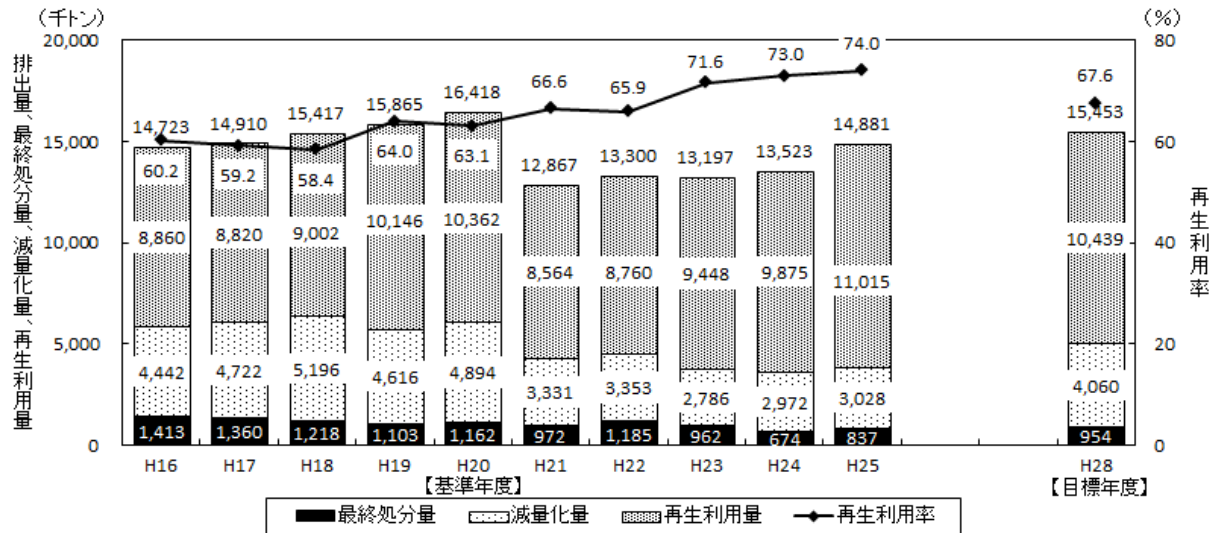


## (2) 産業廃棄物

項目	目標	基準年度 (平成20年度)	実績 (平成25年度)
排出量	平成20年度に対して 約6%削減し 1,545万3千トンとする。	1,641万8千トン	1,488万1千トン (9.4%減)
排出量に対する 再生利用量の割合 (再生利用率)	約68%とする。	63.1%	74.0% (10.9ポイント増)
最終処分量	平成20年度に対して 約18%削減し 95万4千トンとする。	116万2千トン	83万7千トン (28.0%減)

- ・排出量は14,881千トンであり、平成20年度の16,418千トンに比べて9.4%少なく、目標値である15,453千トンを達成している。

- 再生利用率は74.0%であり、平成20年度の63.1%と比べ10.9%高く、目標値である約68%を達成している。
- 最終処分量は837千トンであり、平成20年度の1,162千トンに対して28.0%少なく、目標値である954千トンを達成している。



注:その他量を除いているため、排出量と各処理量の合計値は一致しない。